

正誤表

2023年1月16日

2023年目標 TAC建築士講座

級	一級
講義	学科
科目	環境
教材	テキスト

日付	頁	内容																				
1/16	テキスト P43 5行目図	<p>右図の内容を追記してください。 誤りの問題として紹介しています。</p> <p>【問題】単一の材料からなる壁を単位時間に貫流する熱量は、定常状態において、壁体の表面積が2倍になると2倍になり、壁の厚さが2倍になると1/2になる。(誤)</p> <p>熱貫流量 $Q [W] = UA(t_i - t_o)$ (表面積Aに比例) 熱貫流率 $U = \frac{1}{R_t}$ (両側の温度差 $(t_i - t_o)$ に比例) 熱貫流抵抗 $R_t = \frac{1}{\alpha_i} + \frac{d}{\lambda} + \frac{1}{\alpha_o}$</p> <p>壁の厚さを2倍にすると ■ 熱伝導抵抗は2倍になるが ■ 熱貫流抵抗は2倍にならない ➡ 熱貫流量は1/2にならない</p>																				
	テキスト P125 1行目表	<p>次表のように訂正してください。</p> <table border="1"> <caption>吸音構造の特徴</caption> <thead> <tr> <th>吸音構造の種類</th> <th>多孔質材料</th> <th>板状材料</th> <th>孔あき板材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な吸音域</td> <td>高音域</td> <td>低音域</td> <td>特定の周波数</td> </tr> <tr> <td>背後空気層を厚くすると</td> <td colspan="3">低音域の吸音率が大きくなる。</td> </tr> <tr> <td>背後空気層に多孔質材料を挿入すると</td> <td>—</td> <td colspan="2">主な吸音域（板状材料では低音域、孔あき板材料では特定の周波数）の吸音率が大きくなる（グラフの山が高くなる）。 高音域の吸音には効果がない。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>多孔質材料の表面を塗装、被覆すると、高音域の吸音率が小さくなる。</td> <td>—</td> <td>開口率を大きくすると、高音域の吸音率が大きくなる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>訂正箇所</p>	吸音構造の種類	多孔質材料	板状材料	孔あき板材料	主な吸音域	高音域	低音域	特定の周波数	背後空気層を厚くすると	低音域の吸音率が大きくなる。			背後空気層に多孔質材料を挿入すると	—	主な吸音域（板状材料では低音域、孔あき板材料では特定の周波数）の吸音率が大きくなる（グラフの山が高くなる）。 高音域の吸音には効果がない。		その他	多孔質材料の表面を塗装、被覆すると、高音域の吸音率が小さくなる。	—	開口率を大きくすると、高音域の吸音率が大きくなる。
	吸音構造の種類	多孔質材料	板状材料	孔あき板材料																		
主な吸音域	高音域	低音域	特定の周波数																			
背後空気層を厚くすると	低音域の吸音率が大きくなる。																					
背後空気層に多孔質材料を挿入すると	—	主な吸音域（板状材料では低音域、孔あき板材料では特定の周波数）の吸音率が大きくなる（グラフの山が高くなる）。 高音域の吸音には効果がない。																				
その他	多孔質材料の表面を塗装、被覆すると、高音域の吸音率が小さくなる。	—	開口率を大きくすると、高音域の吸音率が大きくなる。																			
テキスト P132 表	<p>各項目に記載されているテキストの参照ページの訂正をお願いいたします。</p> <p>3行目 (誤) P114 → (正) P116 5行目 (誤) P116 → (正) P117 10行目 (誤) P116 → (正) P117 15行目 (誤) P129 → (正) P131 19行目 (誤) P125 → (正) P127</p>																					

以上のとおり、訂正をお願いいたします。